

家畜は草の化身なり

良草なくして良畜なし



電牧利用のラデノクロバー放牧地（上野幌育種場）



サイベリアン

寒地暖地を通じ秋播用として利用するのが普通で、葉は縮れ、早春の姿は青刈なたねに似ていますが、葉が多取で抽薹も遅く家畜の嗜好に適します。開花期前から刈取つて家畜に与えます。



サウザンドヘッド

主として春播用。主茎は太く、4~5尺となり、甘藍と同様の葉を多数つけ、初夏から初冬まで下葉より順次かきとつて家畜に与えます。

最近特に注目されて来たもので、緑葉のみを生産する不結球で多収な緑餌作物であつて、ビタミンに富み、乳牛はもちろん豚、鶏、兎等の緑餌として効果的なものであります。弊社は本年左記二品種を販売いたしておりましたが、サウザンドヘッドは既に品切れとなりました為、今後の御注文はサイベリアンを御指定いただきたいと思ひますが、両者の間にはかなり差がありますので、ここに写真を掲げて簡単に御説明いたしたいと思います。

ケール（かき葉甘藍）

雪印種苗株式会社

札幌市外豊平町美園

電話③四七五八番・②二九三二番・振替口座小樽一八二四八番・電略受信サツポロ・ユキタネ

東京支店 東京都墨田区横網町16ノ10

電話 本所 (63) 2776 番

電略受信 ホンジョ・ユキタネシテン

牧草と園藝

第四巻 第三号

昭和31年3月1日発行

編集兼
発行人

五十嵐 清

印刷人
印刷所

三田 徳光
興国印刷株式会社

発行所

雪印種苗株式会社（札幌市外豊平町美園）